

NEWSあらかると

倶知安余市道路着工式 高速道路の開通に向けて

国道5号倶知安余市道路は、共和と余市間の平成26年度事業化に続き、倶知安と共和間が今年度新規事業化されました。

5月29日(日)には、共和と余市間の着工式が、西江町長ほか地元市町村長や多くの関係者列席のもと余市町で開催され、同町内において一部工事を進めることになりました。着工式では、各代表や来賓が式辞を述べた後、工事の安全祈願を込め、鍬入れが行われました。

また、5月23日(月)には、しりべしのみちづくりを考えるシンポジウム2016(しりべしに高速道路を実現する会主催)がホテル第一会館で開催されました。北海道横断自動車道のうち、倶知安余市道路の早期開通は、地域の取組を活性化させ、後志の魅力や努力の可能性をさらに広げるものです。このシンポジウムでは、北海商科大学商学部長阿部秀明教授の基調講演の後、「しりべしの自立的発展の実現に向けて」と題し、パネルディスカッションが行われました。

陸自北部方面音楽隊公演 中高生に大きな励み

5月21日(土)、陸上自衛隊北部方面音楽隊コンサートツアー2016 倶知安町公演が開かれました。文化福祉センター大ホールに集まった約500名の観客は、迫力ある素晴らしい演奏に、拍手喝采でした。

また、倶知安中学校吹奏楽部・倶知安高等学校吹奏楽局との合同演奏では、さらに音の厚みが増し、一体となった演奏を聴かせてくれました。

翌22日(日)には、中学生・高校生への技術指導が行われました。中学生と高校生は、パートごとに、さらには初心者・経験者に分かれ、楽器の構造や息の使い方など基礎から丁寧に教わりました。



△音楽隊員より技術指導を受ける生徒

「二セコひらふ地区のエリアマネジメントに関する 地域懇談会」を開催しました

町は「二セコひらふ地区のエリアマネジメント制度」の確立に向けて取り組んでおり、6月1日(水)、グランヒラフマウンテンセンター2階において、「二セコひらふ地区のエリアマネジメントに関する地域懇談会」を開催し、地域住民など31名が出席しました。

会の冒頭町長は、これまでエリアマネジメントの活動財源として地方自治法に基づく分担金の導入を検討してきたが、同地区での導入は、受益と負担が不明確なことから、地方自治法に基づく分担金の徴収はしないことなどを話しました。

また、町の担当者は、これまでのエリアマネジメントに関する経過と、昨年度に実施した「これからのエリアマネジメントに関する調査研究」事業結果の報告をし、その後は同地区にある課題、エリアマネジメント組織の必要性などについて、今年度新たに設置した「二セコひらふエリアマネジメント推進検討会議」のメンバーによるパネルディスカッションを行い、地域住民との情報共有をしました。最後に行った意見交換では、出席者からエリアマネジメント制度に関する質問などがされ、町の考え方についての回答をし、懇談会を終了しました。

町では、日本人も外国人も快適に生活できるリゾートを目指すため、今年

度は、同地区にある課題について、行政、住民、事業所それぞれの役割などを仕分けながら検討し、この地域懇談会での意見を踏まえ、エリアマネジメント組織がやるべきことを整理するなど、地域による組織の立ち上げに向けた取り組みを支援します。

また、町ホームページにて、これまでの取り組みや、考え方を整理するとともに、昨年度に実施した調査研究事業の結果について概要版を公表しています。詳細版については、町総合政策課と、町観光課で閲覧ができます。

■町ホームページURL

http://www.town.kutchan.hokkaido.jp/town_administration/management/

町総合政策課 ☎56-8001



△地域懇談会の様子

（株）内山電業社より 災害用翻訳メガホン寄贈

6月8日（水）、（株）内山電業社から俱知安町と俱知安消防署へ翻訳メガホンが寄贈されました。このメガホンは、「地震です」「安全な場所へ避難してください」などの非常用アナウンス全484パターンが4カ国語（韓・中・英・日）で収録されており、このメガホンを使えば、地震などの災害発生時には、収録済みのアナウンスをタッチ操作のみで流し、避難誘導を迅速に行うことができます。

寄贈した（株）内山電業社内山高茂社長は、「外国人の増加に伴い、俱知安町に必要なろうとを考え寄付することにした。主に災害時、外国人の避難誘導に役立ててほしい」と話しました。

今年4月には、熊本県や大分県で大きな地震が相次いで発生しました。俱知安町でもいつどのような災害が発生するか分かりません。もしものために備えておくことが肝心です。



△メガホンを寄贈した内山社長（右）と受け取る西江町長（中）、麻生消防署長（左）

夏山シーズン 安全な登山楽しんで

6月11日（土）、羊蹄山山開きと半月湖水開き（俱知安観光協会主催）の式典が行われ、慰霊祭、安全祈願祭の後、山開きのテープカットを行いました。式典終了後には、自然ガイドが同行し、半月湖散策を楽しむイベントや名物「金剛力鍋」の振る舞いなど、参加者は夏山シーズンの始まりを大いに楽しみました。

これから本格的な登山シーズンを迎えますが、次のことに注意して安全に楽しみましょう。



❗無理のない登山計画を

○気象情報などを十分確認し、天候の急変時には無理な行動を控える

○経験豊富な人と一緒に行くなど、体力と経験に応じた計画にする

○入山届を最寄りの警察に提出し、家族にも渡す

❗情報収集や装備を万全に

○ラジオや携帯電話などを携行し、バッテリーの準備など情報収集と連絡手段を絶やさないう注意する

○装備・持ち物・服装を整えて十分な食料を用意する。標高の低い山や日帰り登山でも油断は禁物。特に防寒・

雨具の準備は万全にする

姉妹都市サンモリッツへの 留学生募集中

異文化体験をしよう!! Experience St.Moritz

姉妹都市スイス・サンモリッツへ町内の中学生および高校生3名を派遣します。交通費全額、国内宿泊分の費用は町が負担し、チューリッヒ空港からホームステイ先までの送迎は在サンモリッツ通信員のラインハルトポーリンガーさん、現地ではホームステイ先のホストファミリーが対応します。食費、宿泊費などの費用はかかりません。

●日程／平成28年9月26日～10月6日の11日間

●募集条件／

- ①本町の保護者とともに住民登録があり、中学校または高等学校に通学している人
- ②健康状態は良好で、旅行に耐えること
- ③明朗で自主性と協調性に優れ、積極的に自己表現ができること
- ④英検3級程度以上の語学力がある人、またはドイツ語ができる人
- ⑤原則、俱知安町においてサンモリッツの青少年などをホームステイさせることができる人

※なお、応募用紙に保護者の同意および学校長の推薦が必要です。

●締め切り／7月8日（金）までに応募用紙に記入し、担当の先生に提出してください

●選考方法／英語による簡単な面接を行います（7月中旬～下旬を予定）面接日は後日応募者に連絡します

※町内中学校または高等学校に通学する生徒を優先します

☎町総合政策課企画振興室広報広聴係 ☎56-8001（芳田・瀧上）

お知らせ 比羅夫橋通行止め

町道比羅夫榊山線の比羅夫橋修繕工事に伴い、次の期間車両の通行ができなくなります。不便をお掛けしますが、ご協力をお願いします。

※歩行者・自転車の通行は可能です



■予定期間／

平成28年7月下旬～9月下旬まで

☎町建設課 ☎56-8011